

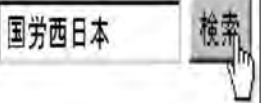


国労西日本

国労西日本本部
NO. 265

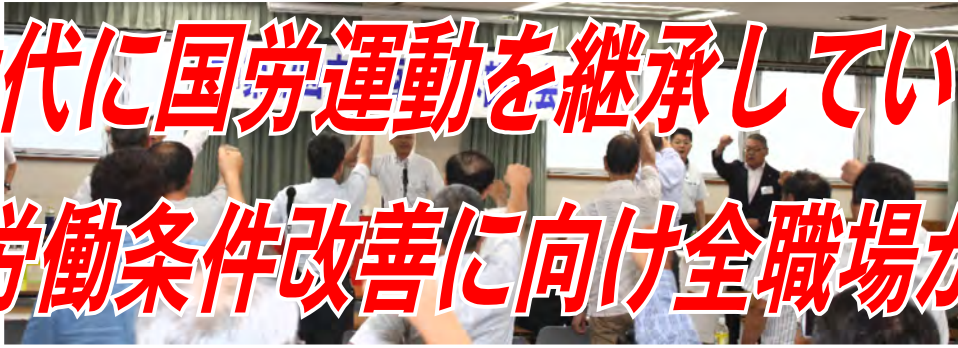
発行責任者 森田 文一
編集責任者 片岡 有宏

変えよう
安全を守る
職場風土に



次世代に国労運動を継承していこう

労働条件改善に向け全職場から



第三二回定期西日本本部大会

安全で安心でできる鉄道輸送の確立

組織拡大に全力をあげよう

国労西日本本部は八月三日、国労大阪会館において第三二回定期西日本本部大会を開催し、この一年間の闘いの総括を行い、安全輸送の確立、労働条件の改善、組織拡大、一九春闘等、諸課題について今後一年間の闘う方針を確立しました。

大会は、職場・地域での様々な問題、新採問題をはじめとする組織拡大に対する取り組み、春闘における意思統一の取り組み、地域との共闘した闘いの報告など活発な議論が行われました。



第32回定期西日本本部大会

大会は、代議員、地方・地区本部代表、職協代表等の構成員、傍聴者を含め約一〇〇名が参加し、中野執行副委員長の司会で開会されました。議長団には、議長に近畿地方本部選出の奥田代議員、副議長に近畿地方本部選出の山脇代議員が選出された。来賓挨拶では、日本共産党清水前衆議院議員、大阪労連川辺議長、全港湾関西地本藤崎書記長、JAL不当解雇撤回裁判原告団内田原告団長、西岡・小森事務局次長、交通共済西日本事業本部小川本部長・志連主幹の皆様からの連帯と激励のご挨拶と国労本部佐々木執行副委員長からは情勢を含めた挨拶を受けました。その後、藤野執行副委員長からこの間の経過報告、新田業務部長から協約・協定の締結承認、青木書記長から二〇一八年度運動方針(案)の提案があり、休憩をはさみ経過報告と運動方針(案)の討議が行われました。

国労西日本本部

森田執行委員長挨拶要旨



核のない世界を

核兵器禁止条約が国連会議で採択され1年が経過しました。一方、日本政府は、禁止条約に反対しています。「核のない世界」を実現するため「ヒバクシャ国際署名」を大きく進めるなど取り組みを強化することが求められています。

に必要な要員と設備の確保、技術継承に向け、職場から安全輸送確立の運動を全力で取り組むこととします。大規模自然災害により、鉄道が社会インフラであることが改めて浮き彫りになりました。一日も早い被災地復興、地域住民の生活のために鉄道の全線復旧が求められています。

春闘における要求と闘い

ベア回答はJR西日本は1200円、JR貨物は19年ぶりの300円であった。低額回答、会社間格差が広がる結果となりました。労働組合の賃金闘争とはいかなるものなのか、2019年春闘における要求と闘いについては早い段階からの討議と意思統一を図ることが求められています。

組織拡大運動を

国労組織と運動の継承、発展のために、組織拡大を最大の課題として、全力をあげて取り組みを進めてきました。困難な状況のもとでも国労を選出した青年労働者に、国労組織と運動をしっかりと残し、継承をしていく責任を全ての役員が共有し文字通り組織一丸となって、眼の色を変えて組織拡大運動を展開しようではありませんか。

安全輸送の確立を

「のぞみ34号」において、運輸安全委員会から重大なインシデントに指定されました。「安全行動計画2022」の検証をおこないながら、安全



運動方針を採択

- ① 一五名の代議員から、支部・分会・職場における組織拡大の取組み、
- ② シニア社員の環境問題、
- ③ 二〇一八年春闘に対する取組みについて、
- ④ 地域と共闘した運動、
- ⑤ 契約社員問題、
- ⑥ 労働協約改訂における労働条件等の改善、
- ⑦ 掲示板の設置問題について、
- ⑧ ネットの活用を、
- ⑨ 各地方・職場における問題点や取組みなどの発言がありました。青木書記長のまとめでは、
- ① 次世代に国労運動を継承していくことが求められる。
- ② 職場の要員確保が重要。
- ③ 市民と野党の共闘を発展させ、2019年の参議院選挙・統一選挙で躍進させよう。

と集約し、全代議員の大きな拍手で運動方針（案）が採択されました。

また、ストライキ権投票については、全代議員の賛成でストライキ権が確立されました。

最後に、「『働き方改革』一括法撤廃、国民と平和・民主主義を守る特別決議」「大会宣言」を満場一致で採択し、森田執行委員長の力強い「団結ガンバロウ」を三唱し、定期大会を終了しました。

これからの医療の進歩を見据え、「生きるためのがん保険」を新しくします。

NEW/ 生きるためのがん保険 Days 1

アフラックはがん保険契約件数 **No.1**
平成29年度「インシュアランス生命保険統計」

NEW/ 女性特有のがんにも手厚い 生きるためのがん保険 Days 1

NEW/ あなたの保障を最新化 生きるためのがん保険 Days 1 プラス

すでにアフラックのがん保険にご契約の皆様へ

■募集代理店(アフラックは代理店制度を採用しております)
アベニール株式会社
〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3階
TEL.03-3437-6810 FAX.03-3437-6822

〈引受保険会社〉
「生きる」を創る。
Aflac
アフラック 東京第二法人営業部
東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル19F
TEL.03-3344-1429 FAX.03-3344-2658
AF広宣課-2017-5036 1月12日

大会宣言

私たちは八月三日、国労大阪会館において第三二回定期西日本本部大会を開催し、この一年間の闘いの総括と安全輸送の確立、労働条件改善、組織強化・拡大、労働法制改悪反対、憲法改悪阻止など国民的諸課題、二〇一九年春闘など向こう一年間の闘う方針の確立と意思統一を行った。

安倍内閣は、九条改憲をめざしその動きを強め、沖縄・辺野古新基地建設の強行、オスプレイの配備拡大等、日本を再び「戦争ができる国」へと大きく踏み出している。そして、第一九六回通常国会で、「働き方改革」関連法案を強行採決した。国労西日本本部は、戦争につながるあらゆる策動を許さず、憲法改悪反対、健康で安心して働き続けられるために、すべての民主団体や国民との共同の闘いを今後も幅広く取り組んでいく。

東日本大震災から七年四カ月が経過した。しかし、いまなお多くの被災者が先の見えない生活を余儀なくされている。政府は「復興加速」の看板の下で、原発に固執して再稼働を進め、高浜原発・大飯原発など六基を再稼働させている。このような安倍政権の非道を許すことなく、破壊された生活と生業の基盤回復に、国が責任を果たしていくことが、最重要課題となっている。国労西日本本部は、今後とも被災地の復興・地支援に向け支援するとともに、地域住民の生活を守るため、原発をなくす闘いと被災地支援に奮闘する。

福知山線脱線事故から一三年になる中、西日本会社では、「JR西日本グループ安全考動計画2022」が今年度から新たに制定されたが、のぞみ三四号の台車亀裂による重大インシデントが発生し、重大労災事故等が後を絶たない状況にある。事故の教訓を活かし、関連労働者を含めた安全確保に向け、全力で取り組むものとする。

職場では「要員不足」「パワハラ」「サービスマン残業」など、不満や批判の声が多く渦巻いている。これまでの要員削減で職場はゆとりのない状況にあり、安全を確保し、安心して働ける職場を作るため、要員不足を改めさせ、「いじめ」「嫌がらせ」を根絶するためメンタルヘルスケア・パワーハラスメント対策の強化、契約社員の正社員化、六五歳定年制など、安全で安心して働ける労働条件の改善をめざして取り組みを強化するものである。

貨物会社では、経常利益は最高益となったことを明らかにする中、ベア三〇〇円、期末手当でも一・六五ヶ月プラス〇・〇八ヶ月分の超低額回答を続けるなど、経営幹部の責任を放棄し、労働者と家族を犠牲にした経営を続けている。国労西日本本部は、貨物会社で働く全ての労働者が安心して働ける職場にするために、構造矛盾の抜本的な解消と労働条件の改善に向け全国単一組織の優位性を発揮し、引き続き客貨一体となった取り組みを強化し奮闘していく。

この一年、「変わらないなら変えよう、国労の手で」を合い言葉に、「組織対策委員会」を継続し、組織強化・拡大に組織を挙げて取り組んできた。国労の労働条件改善要求に、我々の要求と運動が要求の多数派であることを証明しており、確信にする必要がある。今後とも、職場を基礎に運動を構築し、要求の多数派をつくり、組織拡大運動を進らせていかなければならない。

私たちは、安全で安心な職場をつくり、安全輸送確保の取り組みを強化すると共に、格差是正、JRで働くすべての労働者の労働条件改善、組織の強化・拡大、「平和憲法」を守り、JAL不当解雇撤回など労働者の権利を守る闘い、戦争法廃止、米軍基地撤去、原発廃止など、国民の生活と権利を守るため、国政革新にむけて平和と民主主義を守る闘いと国民的諸課題を結合し、全組合員が団結し総力をあげて闘い抜くものである。